



## 平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン

上場取引所 東 大

コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 敏志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 川上 優

TEL 06-6765-0670

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日

平成22年11月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	4,879	7.0	230	58.0	229	33.3	85	△73.9
22年2月期第2四半期	4,561	—	146	—	171	—	329	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	10.45	10.45
22年2月期第2四半期	40.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	3,920	1,908	48.3	230.44
22年2月期	3,608	1,889	52.1	228.45

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 1,895百万円 22年2月期 1,879百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	6.00	—	8.00	14.00
23年2月期	—	6.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	△5.1	286	△42.0	278	△47.3	120	△60.3	14.59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年2月期2Q	8,359,103株	22年2月期	8,359,103株
② 期末自己株式数	23年2月期2Q	133,596株	22年2月期	133,566株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年2月期2Q	8,225,520株	22年2月期2Q	8,225,829株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、アミューズメント業界向け販売部門と小売事業が苦戦したものの、物販業界向け販売部門及びS P部門が好調に推移し、売上高は4,879百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益は230百万円(前年同期比58.0%増)、経常利益は229百万円(前年同期比33.3%増)となりましたが、特別損失を103百万円計上したことにより、四半期純利益は85百万円(前年同期比73.9%減)となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

#### ①卸売事業

アミューズメント業界向け販売部門においては、メーカー系オペレーター等の多店舗展開している販売先を中心とした商品政策を推進しました。この結果、メーカー系オペレーターへの売上高は前年同期比4.5%増となりました。また商品では、「まるねこくらぶ」「でぶねこ」等の自社企画商品を含めたオリジナル商品の売上高が前年同期比28.9%増と好調でしたが、路面店向けの販売が振るわず、売上高は2,090百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

S P部門においては、雑誌の付録や食品メーカーのOEM等を獲得できたことにより、売上高は785百万円(前年同期比33.5%増)となりました。

EC部門においては、オリジナルキャラクターである「でぶねこ」のEC専用商品の開発と投入による他社との差別化や、出店モール内での広告展開や書店・小売店でのチラシ配布といった販促活動を実施しました。商品では、人気キャラクターのフィギュアやストラップが好調に推移し、売上高は21百万円(前年同期比292.7%増)となりました。

物販業界向け販売部門においては、人気キャラクターのグッズに売上が集約されながらも携帯電話関連グッズが291百万円(前年同期比106.9%増)と大きく伸長し、加えてオリジナル商品を中心としたホビー系が好調であったバラエティ雑貨が1,058百万円(前年同期比29.2%増)となりました。これらによりコンビニエンスストア向けルート、専門店及び量販店への売上が増加し、1,487百万円(前年同期比33.6%増)となりました。

以上の結果により、売上高は4,384百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は227百万円(前年同期比44.9%増)となりました。

#### ②小売事業

小売事業においては、ナカヌキヤの既存店3店舗で売上高は前年同期比16.7%減となりましたが、利益率の改善により粗利率は前年同期比で4.0ポイント上昇し、コスト削減と在庫圧縮も奏功して黒字を確保しました。

また、コスメ・フレグランスと雑貨の新業態である「SALAD BOWL」は2店舗を運営しており、当初の計画どおり順調に推移しております。

以上の結果により、売上高は495百万円(前年同期比13.6%減)、営業利益は3百万円(前年同期は12百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、311百万円増加して3,920百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が315百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、292百万円増加して2,012百万円となりました。これは主に未払法人税等が155百万円減少したこと等により一部相殺されたものの、買掛金が518百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、18百万円増加して1,908百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上に伴って利益剰余金が20百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、805百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。  
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、77百万円（前年同期は133百万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権の増加額が316百万円及び法人税等の支払額が188百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が126百万円及び仕入債務の増加額が518百万円あったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、25百万円（前年同期は255百万円の獲得）となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入が18百万円あったこと等により一部相殺されたものの、保険積立金の積立による支出（投資活動によるキャッシュ・フロー「その他」）が26百万円及び有形固定資産の取得による支出が14百万円あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、65百万円（前年同期は294百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額が65百万円あったこと等を反映したものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成22年10月13日に業績予想を修正しております。詳しくは、同日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	805,857	823,796
受取手形及び売掛金	1,595,772	1,279,830
商品	300,538	364,600
繰延税金資産	13,285	15,603
その他	117,155	55,922
貸倒引当金	△9,095	△7,053
流動資産合計	2,823,512	2,532,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	526,955	526,955
減価償却累計額	△192,705	△185,868
建物及び構築物(純額)	334,250	341,087
車両運搬具	9,208	8,907
減価償却累計額	△5,568	△7,149
車両運搬具(純額)	3,640	1,757
その他	64,592	52,358
減価償却累計額	△44,723	△39,135
その他(純額)	19,868	13,222
土地	322,546	322,546
有形固定資産合計	680,306	678,613
無形固定資産	5,925	5,722
投資その他の資産		
投資有価証券	43,388	64,053
繰延税金資産	2,220	3,470
その他	379,027	345,199
貸倒引当金	△13,878	△20,928
投資その他の資産合計	410,757	391,794
固定資産合計	1,096,989	1,076,130
資産合計	3,920,501	3,608,831

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,170,708	651,975
短期借入金	350,000	350,000
未払法人税等	38,411	194,220
賞与引当金	53,606	41,611
その他	168,680	253,623
流動負債合計	1,781,406	1,491,430
固定負債		
退職給付引当金	104,627	104,733
役員退職慰労引当金	124,264	120,645
その他	1,888	2,682
固定負債合計	230,781	228,061
負債合計	2,012,188	1,719,491
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,034,643	1,014,501
自己株式	△51,131	△51,122
株主資本合計	1,896,348	1,876,215
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,361	4,246
繰延ヘッジ損益	△852	△1,340
為替換算調整勘定	△1,387	—
評価・換算差額等合計	△878	2,905
新株予約権	12,843	10,218
純資産合計	1,908,313	1,889,339
負債純資産合計	3,920,501	3,608,831

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
売上高	4,561,819	4,879,807
売上原価	3,310,834	3,557,220
売上総利益	1,250,985	1,322,586
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,756	—
給料及び手当	419,601	404,806
賞与引当金繰入額	45,840	53,606
退職給付費用	7,647	9,439
役員退職慰労引当金繰入額	—	3,619
その他	630,041	620,303
販売費及び一般管理費合計	1,104,886	1,091,775
営業利益	146,098	230,811
営業外収益		
受取利息	356	190
受取配当金	1,758	757
投資有価証券売却益	—	1,698
投資有価証券評価損戻入益	30,036	—
その他	8,908	4,976
営業外収益合計	41,060	7,623
営業外費用		
支払利息	4,753	2,778
投資有価証券売却損	6,717	—
投資有価証券評価損	—	2,650
為替差損	2,288	3,160
その他	1,543	841
営業外費用合計	15,303	9,431
経常利益	171,855	229,003
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	345
保険解約返戻金	106,366	—
前期損益修正益	59,022	—
新株予約権戻入益	—	144
その他	11,835	—
特別利益合計	177,224	489
特別損失		
固定資産売却損	519	110
商品不良損失	—	102,931
特別損失合計	519	103,042
税金等調整前四半期純利益	348,560	126,450
法人税、住民税及び事業税	27,631	36,935
法人税等調整額	△8,916	3,568
法人税等合計	18,715	40,504
四半期純利益	329,845	85,946



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	348,560	126,450
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,833	11,994
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	3,619
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,456	△5,008
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,113	△105
差入保証金の増減額 (△は増加)	68,825	△15,470
受取利息及び受取配当金	△2,115	△948
支払利息	4,753	2,778
投資有価証券評価損益 (△は益)	△30,036	2,650
保険解約損益 (△は益)	△106,366	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△322,232	△316,267
たな卸資産の増減額 (△は増加)	42,273	64,038
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,270	518,883
その他	△3,557	△124,228
小計	36,552	268,387
利息及び配当金の受取額	2,130	1,083
利息の支払額	△4,375	△2,762
法人税等の支払額	△1,799	△188,803
法人税等の還付額	101,144	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,651	77,904
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△20,071	△14,971
保険積立金の解約による収入	242,409	—
投資有価証券の売却による収入	42,916	18,819
その他	△9,999	△29,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	255,255	△25,354
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△270,000	—
自己株式の取得による支出	△4	△9
配当金の支払額	△24,786	△65,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294,790	△65,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,259	△5,055
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	90,856	△17,938
現金及び現金同等物の期首残高	472,988	823,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	563,845	805,857

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,988,769	573,049	4,561,819	—	4,561,819
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,894	—	3,894	(3,894)	—
計	3,992,664	573,049	4,565,714	(3,894)	4,561,819
営業利益又は営業損失(△)	156,780	△12,092	144,688	1,410	146,098

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,384,536	495,271	4,879,807	—	4,879,807
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,532	—	1,532	(1,532)	—
計	4,386,068	495,271	4,881,340	(1,532)	4,879,807
営業利益	227,230	3,120	230,350	460	230,811

(注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。

2. 各事業区分の主な役務

(1) 卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設、物販専門店・量販店等への卸販売及び電子玩具・電子雑貨等の企画開発

(2) 小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック等の小売

3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。